

社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2010年度事業報告

I 概要

公益社団法人への移行申請を完了し、無事認定を受けました。これは三法特別委員会の働きと担当理事の知見によるところが大きく、ここに特筆して感謝を表します。

今年度は財務も健全化し、もう少し大きな事業を空の魅力発信に向けられると良かったのですが、そう急に羽を伸ばせるものでもなく、いくつかの一般へのアピールの活動にとどまりました。これには新たな常設委員会で効果の見込めるプランを探り、今後伸ばしていく予定です。組織外ではハングライダーの愛好者再興に特化した活動も起きており、JHFも歩調を合わせていくことになります。

2010年度の死亡事故はパラグライダー1件、モーターパラグライダー2件発生しました。安全啓蒙活動としては、定期的なリパックにより非常時の確実な対応が取られるよう2009年度よりレスキューパラシュートリパック認定証制度を開始しており、初代認定者を含め174名の方が認定証を取得しています。

2010年度のフライヤー会員有効登録者は9,689名で、昨年度に比べ7.9%減少（2009年度は対前年6.6%減少）しました。減少の歯止めとして、普及活動に力を入れていくため、ハングパラ振興委員会を設置しました。今年度より活動を開始しております。

普及活動としては、日本航空協会が行っている航空スポーツ教室に協力をしており、正会員の協力によりパラ体験コースを担当し、2010年度は東京都1件、福島県1件、神奈川県1件で開催しました。

1. 収支の現状

フライヤー会費の改定は、収支予算の目算に過度期としての影響を与えています。2009年末は、3年会費の支払が増え、2010年からは逆に3年会費登録者は半減しました。これにより、年度としての会費収入は前年と同じ比率と予測した予算額より約1千万円未達となっています。しかし、支出についても事業着手にいたることのできなかつた項目等で、およそ同額の未消化を発生させたので、収支への影響は出ませんでした。

フライヤー登録に掛ける第三者賠償責任保険の運営状況については、保険会社の引き受け拒否は免れていますが、依然高額保険金の支払による保険会社の赤字が続いております。2年ぶりに、保険会社への保険料支払を可能な限り増加して、損害率低下を目指していますが、見通しは明るくありません。10年20年前に比べて、母数である愛好者が減少してしまっていることも、無視できない要素です。普及促進は、すべての面で求められています。

公益認定に伴って、JHFの手持ちの資金のうち1,800万円は、これを取り崩すことのない利息目的の基金といたしました。決算資料でご確認をお願いします。

2. 普及振興事業の実施

- 1) 普及振興の一環として、JHFパンフレットを10年ぶりにリニューアルし随時配布しています。また、JHFロゴによるステッカーを製作し販売しました。
- 2) 第1回JHFフォトコンテストを開催しました。346点の応募作品の中から13点が入賞。入賞作品によるカレンダー作成等、多くの人々の目に触れる様にします。
- 3) パラグライダー教本を新しく作成。練習生からパイロットまで全教程が1冊になりました。

- 4) 教員検定員により教員助教員更新講習会を各地で開催し7ヶ所 75名が受講しました。
教員・助教員の知識、技能の維持向上を行うことにより、JHF フライヤー会員へ安全フライトに関する啓蒙活動を推進するため。
- 5) 教員検定員研修検定会を開催し29名の教員検定員が今後3年間活動します。
- 2) 教員検定会にて、8名が新しく教員として活躍します。(HG1名、PG7名)

3. 特記事項

- 1) 第22回スカイ・レジャー・ジャパン2010 in ふくいに参加
9月25日(土)～26日(日) 福井県坂井市・福井空港
- 2) 第15回スカイスポーツシンポジウムを協賛
12月5日(土) 日本大学理工学部・駿河台校舎

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

- ア 正会員 47名
イ フライヤー会員 9,689名(2011年3月末有効登録数)
ウ 賛助会員 6名

(2) 役員構成

- 理事 9名(内会長1名、副会長1名) 監事 1名(2011年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2010年	6月通常総会
開催通知	2010年3月2日(火)
開催日	2010年6月1日(火) 11:00～17:00
開催場所	東京体育館 第一会議室 (東京都渋谷区千駄ヶ谷)

議案	第1号議案	2009年度事業報告の承認について
	第2号議案	2009年度決算報告の承認について
	第3号議案	2010年度事業計画(案)の決定について
	第4号議案	2010年度予算(案)の決定について
	第5号議案	公益認定のための定款変更の承認について
	第6号議案	公益認定のための役員報酬規約の承認について
	第7号議案	公益認定のための会費規約の承認について
	第8号議案	公益認定のための現行規約廃止の承認について
	第9号議案	JHF 選挙管理委員の選任について

(2) 理事会

ア	第1回理事会	開催日	4月25日(出:理事7、監事1 欠:理事2)
イ	第2回理事会	開催日	5月14日(出:理事7、監事1 欠:理事2)
ウ	第3回理事会	開催日	8月4日(出:理事8、監事1 欠:理事1)
エ	第4回理事会	開催日	10月19日(出:理事8、監事1 欠:理事1)
オ	第5回理事会	開催日	11月18日(出:理事7、監事1 欠:理事2)
カ	第6回理事会	開催日	12月14日(出:理事4、監事1 欠:理事5) 不成立

- キ 第7回理事会 開催日 1月20日 (出:理事6、監事1 欠:理事3)
- ク 第8回理事会 開催日 2月17日 (出:理事6 欠:理事3、監事1)
- ケ 第9回理事会 開催日 3月23日 (出:理事6、監事1 欠:理事3)

(3) 委員会

- ア ハンググライダー競技委員会 10/9, 11/6 他競技会開催時に実施
- イ パラグライダー競技委員会 競技会開催時に実施
- ウ 補助動力委員会 10/15
- エ 教員・スクール事業委員会 11/9, 1/18
- オ 安全性委員会
- カ 制度委員会
- キ ハングパラ振興委員会 12/27, 2/7
- ク 選挙管理委員会 3/23
- ケ 三法委員会 6/30, 3/1

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行 (6月,10月,3月)
(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数: 2010年度 5, 239人 (新規・更新)
2009年度 6, 182人

(3) 技能証発行

- ア HG: 169枚 (2009年度 168枚)
- イ PG: 1, 325枚 (2009年度 1, 369枚)
- ウ MPG: 57枚 (2009年度 63枚)
- エ レスキューリパック認定証 57枚

(4) 競技会の主催・公認・後援

- ア HG: 10件
- イ PG: 27件 (内FAIカテゴリーI・II: 3件)
- ウ HG・PG同時開催: 4件

(5) 競技会の開催

- ア HG:
 - ① 日本選手権
2010年3月18日～22日 茨城県板敷山
参加57人 (内女子9人)
日本選手権者: 大門浩二 女子: 礪本容子
 - ② ハンググライダーシリーズ
有効成績者数 79人 1位 大門浩二
- イ PG:
 - ① 日本選手権
2010年11月19日～23日 和歌山県紀の川フライトパーク
参加73人 (内女子12人) 不成立
 - ② アキュラシー日本選手権
2010年10月16日～17日 宮城県仙台市泉ヶ岳スキー場他

参加30人（内女子5人）

日本選手権者：山谷武繁 女子：東武瑞穂

- ③ ジャパンリーグ・WPR： 有成績者数 98人 1位：武貞伸明
女子： 有成績者数 15人 1位：平木啓子
ジャパンリーグ・NPR： 有成績者数 97人 1位：武貞伸明
女子： 有成績者数 14人 1位：高田奈緒
ジャパンリーグ・NPR・シリアル：
有成績者数 51人 1位：氏田敏彦
女子： 有成績者数 12人 1位：高田奈緒
ジャパンリーグ・国際選抜：有成績者数 91人 1位：武貞信明
ジャパン2リーグ： 有成績者数 72人 1位：橋本みさ紀
女子： 有成績者数 13人 1位：橋本みさ紀
クロスカントリーリーグ： 1位：多賀純一
アキュラシージャパンリーグ・スクラッチ：
有成績者数 41人 1位：山谷武繁
女子： 有成績者数 9人 1位：東武瑞穂
アキュラシージャパンリーグ・ハンディキャップ：
有成績者数 42人 1位：塚原隆信
女子： 有成績者数 10人 1位：東武瑞穂
- ④ 第2回パラグライダーアジア選手権にし阿波
2010年5月1日～9日 徳島県にし阿波地区
7カ国93名が参加。

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

- ア スクールサイト登録校 136件（うち新規登録校 1件）
イ エリア情報掲載 175件

(7) 海外関係団体活動

- CIVL総会 2011年2月26日～27日
スイス ローザンヌ 出席者：デレゲイト 岡芳樹

(8) 世界選手権へのチーム派遣

- ア 第12回ハンググライダー・女子クラスI、第5回ハンググライダー
グ・クラスV世界選手権 参加選手：クラスI 3名、クラスV 5名
2010年5月8日～22日 ドイツ テーゲルベルク

(9) その他

- ア 機体型式登録 20件（PG）
イ 機体情報登録 20件（PG）
ウ レジャー航空無線機貸与 延38件 2,266台
エ AED貸出 8件 ポロジメーター貸出 1件
オ フライヤーのための傷害保険「JHF総合保障制度」加入者数：834名

添付： 2010年度 委員会等活動報告補足

以上

< 2010 年度委員会活動報告補足 >

I ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施。
- 3) 第12回ハンググラディング・女子クラスI、第5回ハンググラディング・クラスV
世界選手権への選手派遣
2010年5月8日～22日 ドイツ
クラスI 女子3名 クラスV 5名参加 悪天候により不成立
- 4) 2010年日本選手権開催(板敷山) 2010年3月18日～22日
57名参加。3年振りに成立。日本選手権者 大門浩二、女子日本選手権者 礪本容子
- 5) ハンググラディングシリーズ管理運営
1位:大門浩二、2位:板垣直樹、3位:太田昇吾
女子1位: 礪本容子

II パラグラディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理
・Jリーグ結果(参加人数106名)
WPR 1位:武貞伸明、 2位:若山朋晴、 3位:上山太郎
WPR女子 1位:平木啓子、 2位:高田奈緒、 3位:河村葉子
NPRオープンクラス 1位:武貞伸明、 2位:若山朋晴、 3位:成山基義
NPRオープンクラス女子 1位:高田奈緒、 2位:河村葉子、 3位:橋本由美
NPRシリアルクラス 1位:氏田敏彦、 2位:高田奈緒、 3位:山口 翔
NPRシリアルクラス女子 1位:高田奈緒、 2位:橋本由美、 3位:高橋美佳
・J2リーグ(参加人数72名)
総合 1位:橋本みさ紀、 2位:村田好彦、 3位:尾崎 肇
女子 1位:橋本みさ紀、 2位:井川絵美、 3位:坂本 恵
・XCリーグ(75本)
1位:多賀純一(261.9km)、2位:二三四藤昭(247.5km)、3位:郡司秀雄(247.1km)
最長フライト:二三四藤昭(98.2km)
・AJリーグ(参加人数45名)
スクラッチクラス 1位:山谷武繁、 2位:岡 芳樹、 3位:横井清順
スクラッチクラス女子 1位:東武瑞穂、 2位:菊田久美、 3位:茂呂可寿美
ハンディキャップクラス 1位:塚原隆信、 2位:長根 悟、 3位:日野政浩
ハンディキャップクラス女子 1位:東武瑞穂、 2位:石屋恵子、 3位:内田 薫
ルーキークラス 1位:日野政浩、 2位:山口 翔、 3位:古田岳史
ルーキークラス女子 1位:石屋恵子、 2位:内田 薫、 3位:西野永子
- 4) 2010年度日本選手権開催(和歌山県紀ノ川エリア)2010年11月19日～23日
タスク3本成立/5日 73人参加 規定により日本選手権としては不成立。
総合1位:成山基義、2位:呉本圭樹、3位:張本弘三、4位:阿知波広和、
5位:武貞伸明、6位:加賀山務
女子1位:平木啓子、2位:伊藤弥生、3位:高畑京子
シリアル1位:森 俊法、2位:花田英二、3位:平尾暢彦

- 5) 2010年度アキュラシー日本選手権開催（宮城県泉ヶ岳）2010年10月16～17日
7ラウンド成立 30人参加
総合1位：山谷武繁、2位：岡 芳樹、3位：日野政浩、4位：古賀光晴、5位：横井清順、
6位：加賀山務
女子1位：稲田瑞穂、2位：菊田久美、3位：内田 薫
ハンディキャップ1位：日野政浩、2位：山谷武重、3位：古田岳史
ハンディキャップ女子1位：稲田瑞穂、2位：内田 薫、3位：西野永子

III 補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) MPGにおける事故や通報の対応策
- 2) MPG技能証規程の改定検討
- 3) MPG教員検定の検討
- 4) フライヤー会員登録の推進
- 5) アキュラシー大会協力

IV 教員・スクール事業委員会 委員長 岩橋 亘

- 1) 教員助教員更新講習会開催
10箇所で開催 96名受講
- 2) 教員検定会開催 9名に教員認定（PG5、HG3、MPG1）
- 3) 教員検定員研修検定会開催（3月8日～10日）
- 4) パラグライダー教本改訂・発行
- 5) パラグライダー学科試験問題の改訂
- 6) JHFレスキューリパック認定証制度の実施運用

V 安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) 昨年度に続き、運用経費の圧縮と効率的な運用を目的として、委員会の開催はメール通信による稟議で行なった。
- 2) JHFウェブサイトに掲載するDHVのセーフティーノーツ訳について、ハング、パラ、装備に分けて掲載するようにした。
- 3) JHFウェブサイトにおいて、安全管理情報の普及に役立つ事例集をブログリンク形式で掲載することを検討し、情報媒体が無いハングについてまず、これを行うことを決定し、ブログ業者の選定などの作業に入った。
- 4) 安全性委員会で収集・作成した事故報告書の公開について、検討したが、結論には至っていない。
- 5) 理事会からの「HG/PG型式登録制度の変更について」の諮問に対して回答した。
- 6) 12月5日に栃木県で発生した事故について事故調査報告書を作成した。

VI 制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHFに関わる制度の定款、規約、規定、規則等の文書管理
- 2) 公益認定申請に関わる制度の見直し
- 3) 理事会諮問事項の対応

ハングパラ振興委員会 委員長 芦川 雄一郎

- 1) JHFサイト・リニューアルの検討